



三師会会長が語る日本の医療の未来 過去の経験を教訓に進む連携化

ラジオNIKKEIは1954(昭和29)年の開局以来、全国放送という可聴エリアの広さを生かし、生涯学習の一助となるべく、日常臨床に役立つ医学・薬学情報を日本全国に向けて発信しています。11月3日(火・祝)放送の特別番組『日本の医療の未来を考える』では、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会の会長が一堂に会し、少子高齢化への対応や医療職の働き手不足、災害対応といった日本の医療が抱える課題を見つめるとともに、国民により良い医療を提供するために各団体が行っている取り組みをご紹介します。

今回は数ある課題の中でも、特に地域医療と災害医療に焦点を当てています。災害が起こった時、被災者の生命や健康を守るために、どのようなことが求められ、実際にどのような活動を行ったか。番組の中で三氏は、今年7月に起こった令和8年熊本地震を例にとり、時系列で各団体の取り組みを報告。10年前に同地で起こった平成28年熊本地震で得た教訓をもと



(左から大宮杜喜子さん、高橋英登さん、松本吉郎さん、岩月進さん)

に医科・歯科・薬科の連携が図られ、国や行政機関との協力体制の強化、医療DX導入による情報共有体制の構築などが進められたとしています。「連携の結果、10年前に比べ、災害関連死ははるかに少ない結果につながりました」と日本医師会の松本会長。番組内では、経験を分かち合い体制を強化することで、将来発生が懸念される大規模災害に備えていきたいと、三氏が思いを改めて共有。医科、歯科、薬科が連携することで初めて、われわれ国民の生命と健康が守られ、安心・安全につながります。着実に進む三師会の連携にも注目しながら、ぜひみなさんも日本の医療の未来について一緒に考えてみませんか。



『日本の医療の未来を考える』番組概要

【放送日時】2026年11月3日(火・祝)17:10~17:55

【出演】 松本 吉郎(日本医師会長)
高橋 英登(日本歯科医師会長)
岩月 進(日本薬剤師会長)

【進行】 大宮 杜喜子(フリーアナウンサー)

【放送】 ラジオ NIKKEI 第1

【音声配信】radiko

(聴取 URL <https://radiko.jp/share/?sid=RN1&t=20261103171000>)